

お知らせします 平成22年度 市の財政状況

市では、条例に基づいて6月と12月の年2回「市の財政事情」を公表しています。今回は、平成22年度（平成23年3月31日現在）の財政状況をお知らせします。なお、市の会計のうち、一般会計と特別会計は、5月31日までの間、収入と支出の整理期間がありますので、今回の金額が最終的な決算ではありません。 〓財政課 ☎36-7123

企業会計 (決算見込額)

病院事業

【収入】	134億1,217万円
収益的収入	126億3,416万円
資本的収入	7億7,801万円
【支出】	130億4,782万円
収益的支出	120億6,642万円
資本的支出	9億8,140万円

水道事業

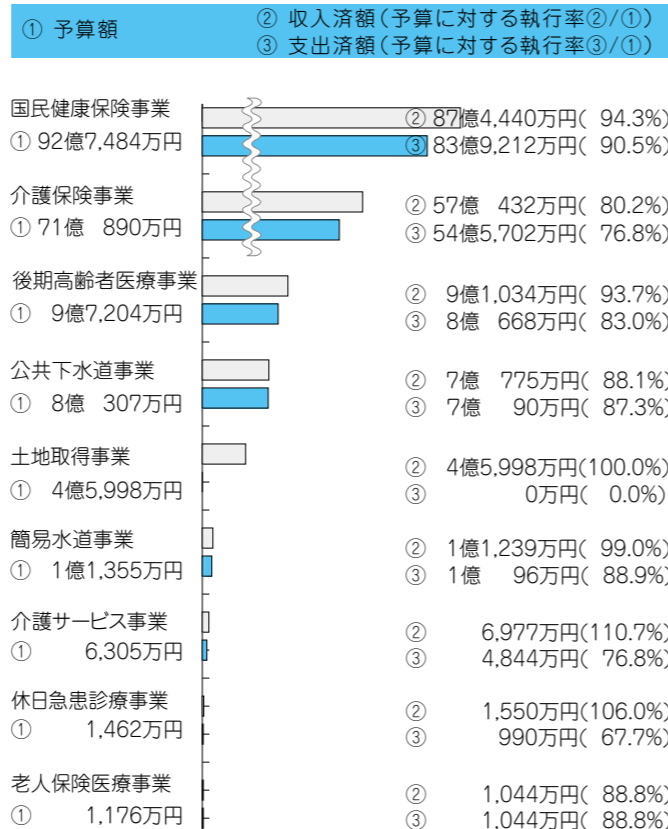
【収入】	10億3,857万円
収益的収入	9億8,975万円
資本的収入	4,882万円
【支出】	12億5,976万円
収益的支出	9億2,051万円
資本的支出	3億3,925万円

市債 (年度末残高見込額)

一般会計	439億2,017万円
特別会計	
簡易水道	2億6,004万円
公共下水道	47億8,294万円
企業会計	
水道事業	15億3,998万円
病院事業	31億2,298万円

特別会計

予算額	188億2,181万円
収入済額	167億3,489万円
支出済額	155億2,646万円



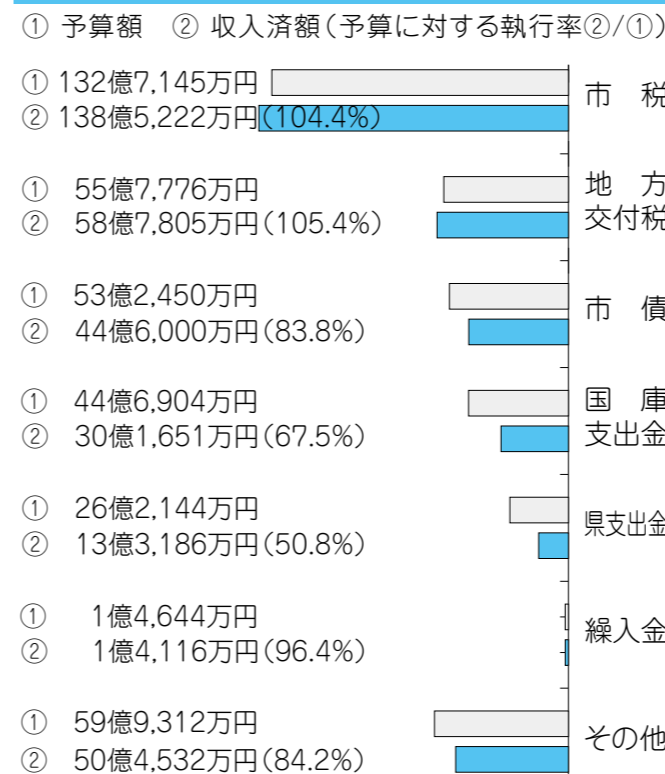
一般会計

予算額	374億375万円
収入済額	337億2,512万円 (執行率90.2%)
支出済額	308億6,702万円 (執行率82.5%)

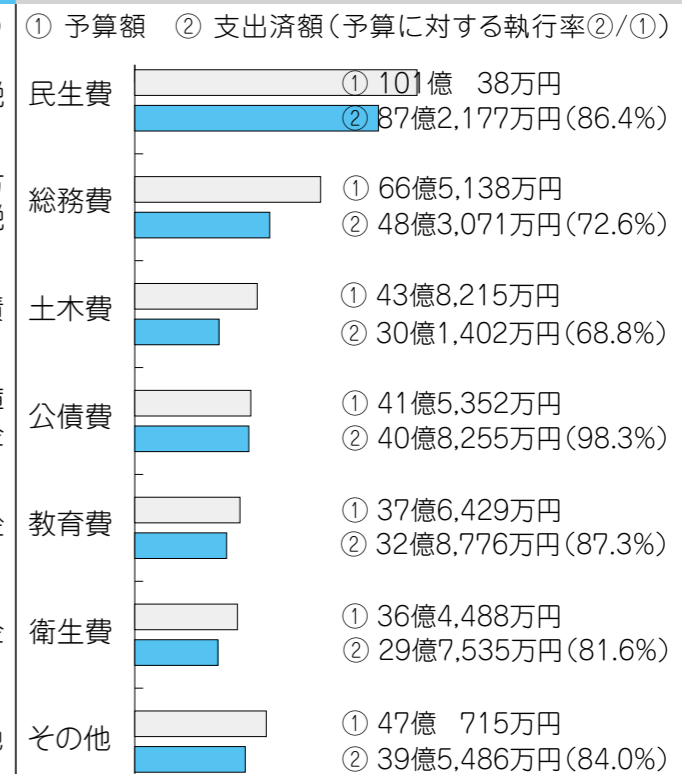
※参考：平成21年度決算額

予算額	397億8,303万円
収入済額	375億1,608万円 (執行率94.3%)
支出済額	363億7,347万円 (執行率91.4%)

歳入



歳出



おひえて

財政用語のあれこれ

一般会計とは...
市が行う仕事の中心となる部分の会計で、道路を造ったり、ごみを収集したり、福祉サービスを提供したりと、いろいろな仕事に使われています。その主な収入源は、皆さんの大切な税金(市税)です。

特別会計とは...
国民健康保険や介護保険、公共下水道などの特定の事業を行う場合の会計で、一般会計と区別しています。

企業会計とは...
病院事業や水道事業のように利用者からの料金で経営する事業の個別の会計です。公営企業会計で得られる利益を「収益的収入」、事業にかかる支出を「収益的支出」といいます。また、将来の経営活動に備えて行う建設事業にかかる支出を「資本的支出」、それにかかる借入金等の財源を「資本的収入」といいます。

市債とは...
学校や道路、公共下水道などの公共施設を整備するために、市が国や県、銀行などから借りるお金(借入金)のことです。

【市税】

市民税、固定資産税、都市計画税など

【地方交付税】

国が徴収した税金(国税)の一部を、収入が不足する地方自治体に配分するもの

【国庫(県)支出金】

特定の事業を行うことを目的に、国(県)が市町村に支出する補助金や負担金など

【繰入(繰出)金】

特別会計、企業会計との会計間や、基金との間における現金の移動のこと

【民生費】

児童・高齢者・障害者福祉などに使う経費

【総務費】

戸籍・住民登録や電算システム、庁舎の維持管理などに使う経費

【土木費】

道路、河川、公園、市営住宅などの整備に使う経費

【公債費】

借入金(市債)を返済するための経費

【教育費】

学校教育や生涯学習などに使う経費

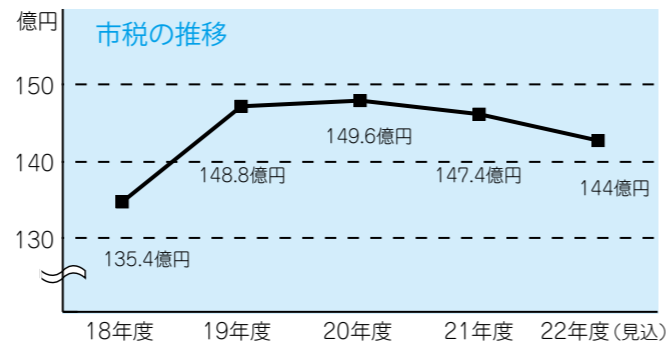
【衛生費】

保健活動やごみ処理などに使う経費

平成22年度
一般会計 歳入

主たる歳入である市税は、前年度に比べ、約3億4,000万円、率にして2.3%の減収が見込まれますが、この歳入不足に対処するため、国では地方交付税の増額など、地方財源の確保に向けた措置を行っており、歳出に必要な財源を確保できる見込みです。

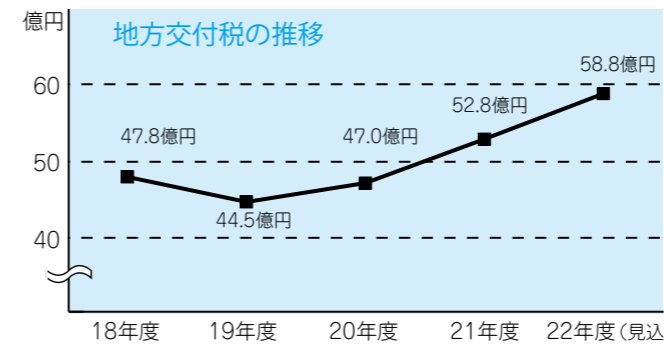
※平成19年度以前の数値は、合併前の島田市・川根町の合計です。



●市税…前年度と比べ2.3%減収の見込み

市税は、市のさまざまな仕事を行う上で基本となる収入です。

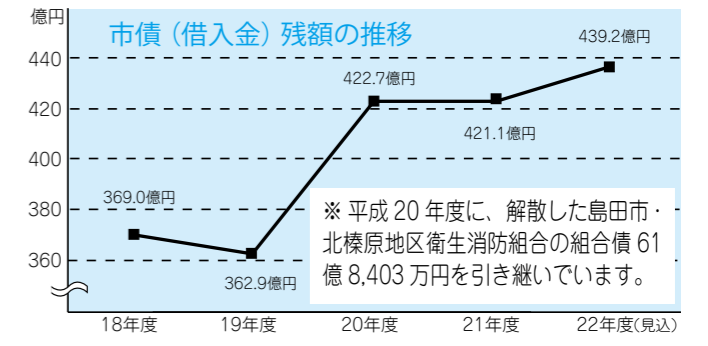
景気低迷が続く中、個人市民税が大幅な減収となっているため、市税総額は前年度と比べ、約3億4,000万円減の144億円程度となる見込みです。



●地方交付税…前年度と比べ11.4%の増

地方交付税は、普通交付税と特別交付税を合わせて58億7,805万円で、前年度と比べ、約6億291万円、率にして11.4%の増になりました。

これは、地方税収の落ち込みに対処するため、国の地方交付税総額増額措置があったことなどによるものです。



●市債(借入金)

…市民一人当たり 50,298円(平成22年度分)
…市民一人当たり 426,948円(残高)

平成22年度は、道路・施設の建設事業や収入の補てんなどに51億7,420万円借入れ、年度末の市債残高は439億2,017万円となる見込みです。地域振興基金の新規積立のための借入れ18億3,630万円を除くと、420億8,387万円で、前年度とほぼ同額です。

平成22年度
一般会計 歳出

「人と産業・文化の交流拠点 水と緑の健康都市 島田」を将来像とする市総合計画に基づき、都市基盤の整備や少子高齢化対策、産業振興の支援のための事業を実施したほか、国の経済対策交付金による事業を行いました。



●民生費(子育て支援事業など)

子育て応援プレミアム金券を発行し、子育て家庭への経済的支援を図りました。

10月からは、入院・通院にかかることも医療費助成について、対象を中学生までに拡大しました。

また、入園待機児童解消策の一環として、家庭的保育(保育ママ)事業をスタートしました。



●土木費(横井中央線整備事業など)

中心市街地を南北に結ぶ幹線道路として横井中央線(大津通・中河町工区)の整備を行うため、調査や用地取得などを行いました。さらに、富士山静岡空港周辺地区の生活環境を改善するため、周辺道路を整備しています。

また、緑豊かな川根地区で、子育て世代の定住化を図るため、子育て世代型住宅を建設しました。

都市機能の充実を図るため、中心市街地に新島田ショッピングビルを建設する事業者に対し、助成を行いました。

●農林業費(茶園凍霜害被災農業者等支援事業など)

国営かんがい排水事業「国営大井川用水地区」の第1期分事業が完了し、国が立て替えた事業費を一括償還しました。

また、茶園凍霜害を受けた農業者を支援するための補助事業を行いました。

換算した金額(歳入) (平成22年度見込み)	固定資産税 (法人分含む)	市民税 (法人市民税含む)	都市計画税	たばこ税	軽自動車税	入湯税
総額	65,959円	50,291円	11,035円	4,543円	2,102円	728円
134,658円 (※)						

※平成23年3月31日現在の人口:10万2,870人で算出。

換算した金額(歳出) (平成22年度見込み)	民生費	総務費	公債費	教育費	土木費	その他 (農林業費など)
総額	84,784円	46,959円	39,687円	31,960円	29,299円	67,369円
300,058円 (※)						